

平成27年6月 全国百貨店売上高概況

平成27年7月21日

I. 概況

1. 売上高総額	4,879億円余
2. 前年同月比	0.4% (店舗数調整後/3か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	82社 238店 (平成27年5月対比-1店)
4. 総店舗面積	6,068,814㎡ (前年同月比:-1.8%)
5. 総従業員数	78,370人 (前年同月比:-1.8%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	11-1月 -1.8%、12-2月 -1.3%、1-3月 -8.6%、 2-4月 -4.7%、3-5月 -3.1%、4-6月 6.4%

[参考] 平成26年6月の売上高増減率は-4.6% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

6月は、西日本を中心に降水量が多く気温も低めに推移したことや、休日の1日減など厳しい条件ではあったが、前年同月比0.4%増と3か月連続で売上を伸ばした。地区別では、シェアの高い東京(+5.9%)、大阪(+3.2%)が全体を牽引し、仙台(+1.3%)もプラスを記録する一方、横浜(-0.1%)、福岡(-0.3%)の両地区が前年に迫るなど大都市圏が堅調だった。

商品別では、主要5品目のうち身のまわり品(+0.8%)、雑貨(+18.4%)、家庭用品(+3.9%)がプラスとなり、食料品も健闘(-0.1%)したが、主力の衣料品はクリアランスの月ずれによる影響を受け7.7%減に終わった。

細分類では、化粧品(+21.3%)、美術・宝飾・貴金属(+27.9%)が引き続き好調を持続する一方、セール補完策として打ち出した商材、及び各種販促施策などが好調で、菓子(+0.6%)、惣菜(+0.3%)の健闘とともに全体を下支えすることができた。また中元については早期展開、ネット強化、新商材投入などの施策により順調に前半を折り返した。

なお、訪日外国人売上高は、中国の端午節(6/20~22)による大型連休で家族連れの来日が増えたことに加え、ASEAN諸国からの来店客も好調で、購買客数は276.5%増、売上高伸率も前月に続き過去最高を更新する307.1%増を記録するなど増勢が続いている。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇活発な梅雨前線が西日本南岸から東日本南海上に停滞することが多く、西日本では月平均気温は低く、西日本太平洋側では日照時間が少なく月降水量は多かった。特に九州南部は6月では統計開始以来最も降水量が多かった。

(2) 営業日数増減 29.9日 (前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 8日 (" -1日)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数136店舗)

①増加した：26店、②変化なし：38店、③減少した：72店

(5) 6月歳時記 (中元、父の日) の売上 (同上/有効回答数119店舗)

①増加した：19店、②変化なし：70店、③減少した：30店

全国百貨店 売上高速報 2015年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	487,989,519	100.0	0.4 (-0.1)
10都市	330,874,951	67.8	2.1 (1.9)
札幌	11,613,974	2.4	-1.6
仙台	6,582,846	1.3	1.3
東京	134,502,550	27.6	5.9
横浜	30,415,545	6.2	-0.1
名古屋	30,162,224	6.2	-1.1
京都	19,192,430	3.9	-7.3 (-9.8)
大阪	60,819,418	12.5	3.2
神戸	12,488,188	2.6	-1.6
広島	10,131,057	2.1	-2.8
福岡	14,966,719	3.1	-0.3
10都市以外の地区	157,114,568	32.2	-3.1 (-4.1)
北海道	2,429,186	0.5	-5.9
東北	7,840,948	1.6	-2.7
関東	74,126,777	15.2	-3.5
中部	11,537,030	2.4	-4.2
近畿	20,715,188	4.2	-4.3
中国	11,295,777	2.3	-1.4
四国	7,828,652	1.6	-2.3
九州	21,341,010	4.4	-1.2 (-7.9)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	487,989,519	100.0	0.4 (-0.1)
紳士服・洋品	32,620,097	6.7	-5.9 (-6.2)
婦人服・洋品	93,704,840	19.2	-8.6 (-9.1)
子供服・洋品	8,484,425	1.7	-12.0 (-12.1)
その他衣料品	11,443,384	2.3	-1.1 (-1.5)
衣 料 品	146,252,746	30.0	-7.7 (-8.1)
身のまわり品	62,429,914	12.8	0.8 (0.4)
化粧品	32,238,413	6.6	21.3 (21.0)
美術・宝飾・貴金属	31,739,289	6.5	27.9 (27.7)
その他雑貨	18,055,447	3.7	1.1 (0.0)
雑 貨	82,033,149	16.8	18.4 (17.9)
家 具	5,594,161	1.1	2.3 (2.0)
家 電	1,785,743	0.4	-1.6 (-1.8)
その他家庭用品	16,139,767	3.3	5.2 (4.8)
家 庭 用 品	23,519,671	4.8	3.9 (3.6)
生 鮮 食 品	30,288,368	6.2	-0.9 (-1.6)
菓 子	35,566,210	7.3	0.6 (0.2)
惣 菜	29,032,189	5.9	0.3 (-0.1)
その他食料品	49,528,579	10.1	-0.3 (-1.0)
食 料 品	144,415,346	29.6	-0.1 (-0.6)
食 堂 喫 茶	13,767,882	2.8	-2.8 (-3.1)
サ ー ビ ス	5,356,355	1.1	0.4 (0.1)
そ の 他	10,214,456	2.1	2.4 (1.9)
商 品 券	18,905,463	3.9	-3.0 (-3.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	2. 1% (店舗数調整後/3か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-3. 1% (店舗数調整後/3か月ぶりマイナス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	2. 1	1. 4	3か月連続プラス
札幌	-1. 6	0. 0	3か月ぶりマイナス
仙台	1. 3	0. 0	3か月連続プラス
東京	5. 9	1. 5	3か月連続プラス
横浜	-0. 1	0. 0	3か月ぶりマイナス
名古屋	-1. 1	-0. 1	3か月ぶりマイナス
京都	-7. 3	-0. 3	3か月ぶりマイナス
大阪	3. 2	0. 4	3か月連続プラス
神戸	-1. 6	0. 0	3か月ぶりマイナス
広島	-2. 8	-0. 1	3か月ぶりマイナス
福岡	-0. 3	0. 0	3か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	-3. 1	-1. 0	3か月ぶりマイナス
北海道	-5. 9	0. 0	2か月連続マイナス*
東北	-2. 7	0. 0	3か月ぶりマイナス*
関東	-3. 5	-0. 6	3か月ぶりマイナス
中部	-4. 2	-0. 1	3か月ぶりマイナス
近畿	-4. 3	-0. 2	3か月ぶりマイナス
中国	-1. 4	0. 0	3か月ぶりマイナス*
四国	-2. 3	0. 0	3か月ぶりマイナス
九州	-1. 2	-0. 1	3か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品、雑貨、家庭用品が3か月連続のプラスとなった。また、衣料品、食料品が3か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、家具、その他家庭用品、惣菜が3か月連続、菓子が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.4	—	3か月連続プラス
紳士服・洋品	-5.9	-0.4	3か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-8.6	-1.8	3か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-12.0	-0.2	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	-1.1	0.0	3か月ぶりマイナス
衣料品	-7.7	-2.5	3か月ぶりマイナス
身のまわり品	0.8	0.1	3か月連続プラス
化粧品	21.3	1.2	3か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	27.9	1.4	3か月連続プラス*
その他雑貨	1.1	0.0	3か月連続プラス*
雑貨	18.4	2.6	3か月連続プラス
家具	2.3	0.0	3か月連続プラス
家電	-1.6	0.0	3か月ぶりマイナス
その他家庭用品	5.2	0.2	3か月連続プラス
家庭用品	3.9	0.2	3か月連続プラス
生鮮食品	-0.9	-0.1	15か月連続マイナス*
菓子	0.6	0.0	2か月ぶりプラス*
惣菜	0.3	0.0	3か月連続プラス*
その他食料品	-0.3	0.0	3か月ぶりマイナス*
食料品	-0.1	0.0	3か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-2.8	-0.1	3か月ぶりマイナス
サービス	0.4	0.0	3か月連続プラス
その他	2.4	0.0	2か月ぶりプラス
商品券	-3.0	-0.1	52か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>